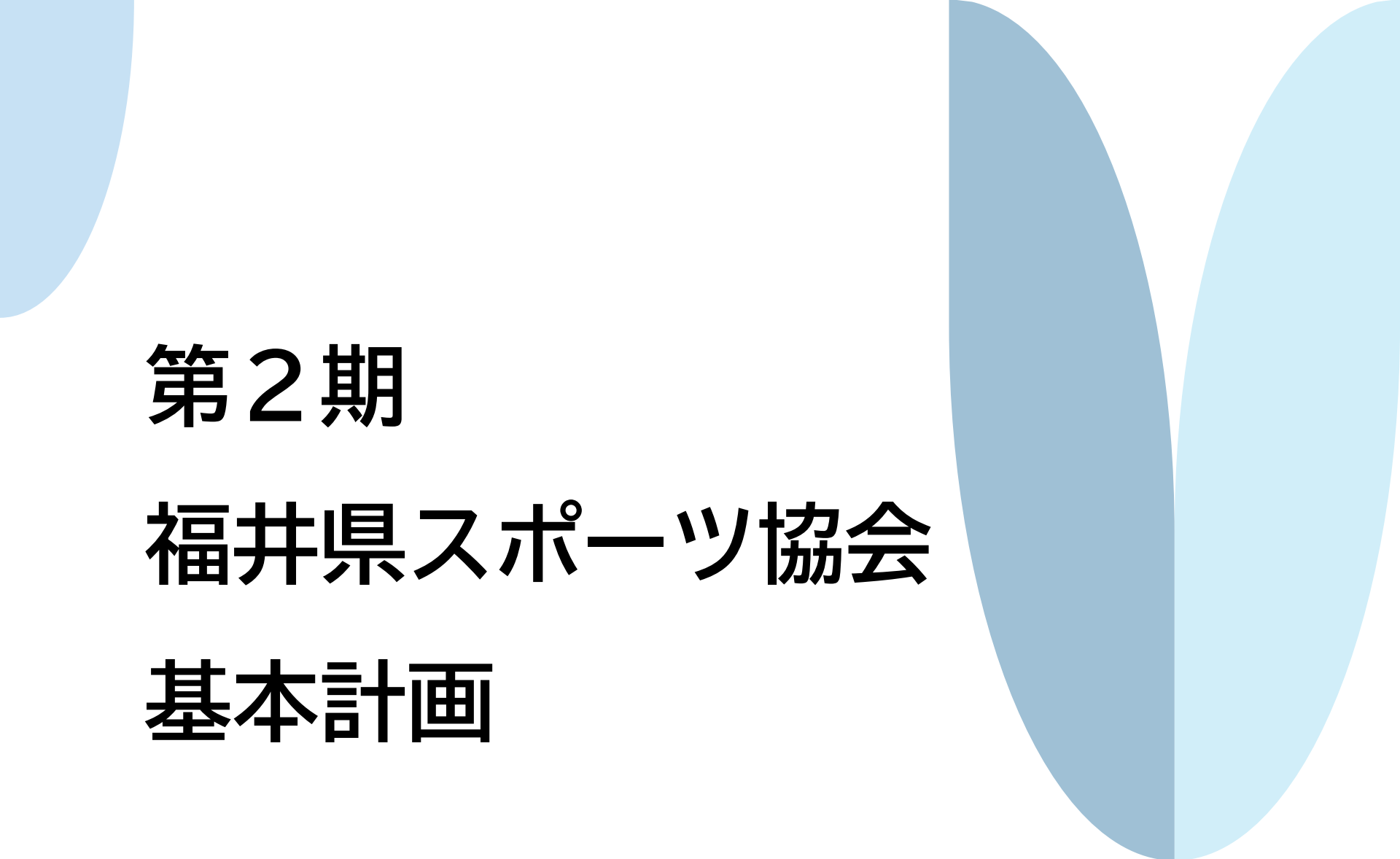
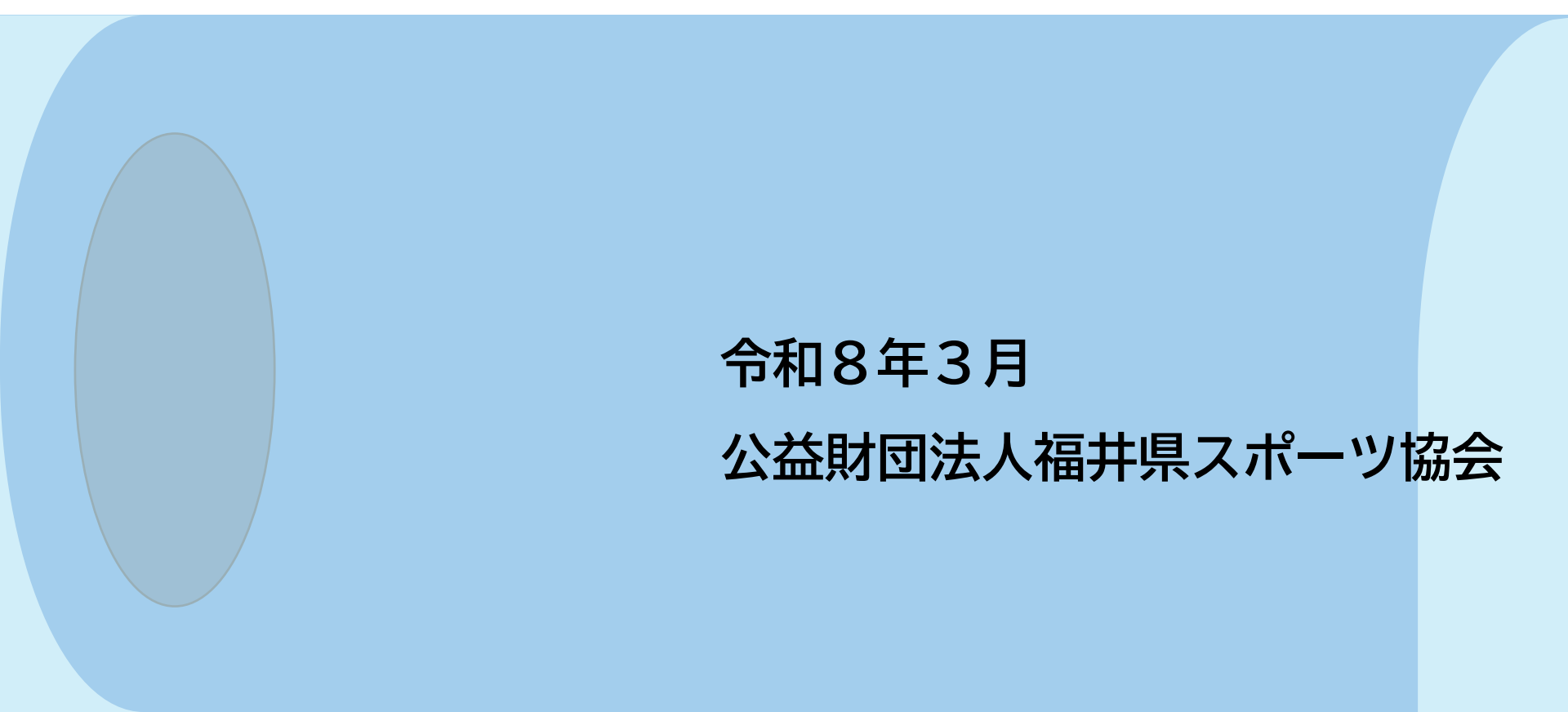




第2期

福井県スポーツ協会

基本計画



令和8年3月

公益財団法人福井県スポーツ協会

目次

第1章 計画改定にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1 計画改定の趣旨	
2 計画の期間	
第2章 これまでの取組みと現状・課題・・・・・・・・・・	2
◇基本施策1 「トップアスリートの養成」	
◇基本施策2 「1県民1スポーツの推進」	
◇基本施策3 「健全な組織運営の継続」	
第3章 計画の基本的な考え方・・・・・・・・・・・・・・・・	5
1 基本理念	
2 3つの基本方針	
第4章 具体的な施策の展開	
基本方針1 世代をこえて広がる、スポーツの輪・・・・・・・・	6
（1）ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	
（2）「する」「みる」「ささえる」スポーツに親しむ環境づくり	
（3）スポーツ指導者の育成と質の向上	
（4）スポーツ交流の推進	
基本方針2 トップアスリートを、ふくいから・・・・・・・・	10
（1）選手を育成強化する体制づくり	
（2）持続可能な指導者の育成と確保	
（3）競技力向上のための環境づくり	
基本方針3 健全な運営が支えるスポーツ振興・・・・・・・・	14
（1）組織運営の強化のための人材の登用・育成	
（2）財務の健全性の確保	
（3）加盟団体の育成及び連携強化	
第5章 目標達成の指標	

第1章 計画改定にあたって

1 計画改定の趣旨

本会は、平成30年の「福井しあわせ元気国体」における男女総合優勝（天皇杯）および初の女子総合優勝（皇后杯）を成し遂げ、国体開催を通じて培われた競技団体の組織力や情熱をレガシーとして継承してきました。これらを生かし、さらなる「競技力の向上」や「県民スポーツの推進」に向け、多角的な事業を展開してきたところです。

一方、スポーツ界を取り巻く環境は大きく変化しています。スポーツの価値を一層高め、不祥事を未然に防ぐための「スポーツ団体ガバナンスコード」の策定（令和元年6月）など、組織運営の透明性と健全性が強く求められるようになりました。これを受け、本会では令和3年3月に「福井県スポーツ協会基本計画」を策定し、「トップアスリートの養成」「1県民1スポーツの推進」および「健全な組織運営の継続」を柱として、県と密接に連携しながら安定的かつ持続的な組織経営に努めてまいりました。

現行計画が令和7年度で終期を迎えるにあたり、これまでの理念を継承しつつ、社会情勢の変化や県の「第2期福井県スポーツ推進計画」との整合性を図るため、新たに「第2期福井県スポーツ協会基本計画」を策定します。

本計画では、今後のスポーツ振興に向けた具体的な施策を提示し、スポーツの持つ力を通じて県民一人ひとりの生活や心を豊かにし、活力ある地域社会の実現を目指します。

2 計画の期間

本計画の期間は、令和8年度から令和12年度までの5年間とします。

なお、社会情勢や経済環境の変化、スポーツを取り巻く新たなニーズ等に柔軟に対応するため、必要に応じて適宜内容の見直しを行います。

※本計画の中では、公益財団法人福井県スポーツ協会を「本会」、国民体育大会を「国体」、国民スポーツ大会を「国スポ」と表記します。

第2章 これまでの取組みと現状・課題

◇基本施策1 「トップアスリートの養成」

福井国体のレガシーを活かした競技力の維持と向上を目指し、国スポ総合順位と競技スポーツの全国大会での上位入賞者数、公認スポーツ指導者新規登録数を目標に掲げて施策を進めてきました。

【目標達成状況】

ア 国スポ総合順位

項目	目標値	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率
国スポ総合順位	10位台をできるだけ維持	1位	10位	—	—	18位	14位	18位	14位	達成 100%

国スポ総合順位10位台をできるだけ維持することを目標に掲げ、「選手を育成強化する体制づくり」と「指導者の育成と確保」、「競技力向上のための環境づくり」をテーマに様々な事業に取り組んできました。その結果、福井国体後も10位台を維持し続けています。この競技力を維持できるよう、中長期的な視点で、選手確保・育成・強化サイクルへの支援を継続していきます。

イ 競技スポーツ全国大会での上位入賞者数（1～3位）

（県スポーツ課調べ）

項目	目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率
競技スポーツ全国大会での上位入賞者数(1～3位)	100件/年を維持	130件	188件	200件	249件	190件	211件	達成 211%

入賞者数100件/年を目標に掲げ、選手を育成強化する体制を整えてきました。また、福井国体に向けて補強、強化したアスリートの活躍等もあり、令和2年度以降も100件を超える好成績を収めています。今後も引き続き、ジュニア世代の発掘・育成から成年までの強化サイクルに取り組みながら、競技ごとの実情に合わせて、部活動以外でも活動できる環境を整備していきます。

ウ 公認スポーツ指導者新規登録数

（県スポーツ課調べ）

項目	目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率
公認スポーツ指導者新規登録数	100名	94名	90名	154名	176名	174名	123名	達成 123%

新規登録数100名を目標に掲げ、指導者の育成と確保につながる事業を行ってきました。また、スポーツ少年団指導者制度の改定に伴い、令和4、5年度には、(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格への移行者および新規登録者が追加され、公認スポーツ指導者新規登録者数は増加しました。

競技力向上の維持のためには、より高いレベルの指導力が求められます。資格保有者の高齢化や部活動の地域展開によって各競技団体が指導力不足に陥らないよう、今後も公認スポーツ指導者資格の取得を促していきます。

【主な成果】

- ・福井国体後も国スポ総合順位10位台を維持
- ・公認スポーツ指導者新規登録者数の増加 など

【主な課題】

- ・ジュニアから成年まで各世代での選手発掘・育成、継続的な強化サイクルの構築
- ・アスリートが就職後も競技活動を継続できる企業へのU I ターン就職の推進および競技活動への支援
- ・公認スポーツ指導者の資質向上など

◇基本施策2 「1県民1スポーツの推進」

福井国体・障スポを契機とした地域スポーツの振興を図ることを目指し、成人の週1回以上のスポーツ実施率と総合型地域スポーツクラブ会員数を目標に掲げて施策を進めてきました。

【目標達成状況】

ア 成人の週1回以上のスポーツ実施率

(体力・運動能力調査：スポーツ庁)

項目	目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率
成人の週1回以上のスポーツ実施率	65.0%	56.0%	66.5%	54.8%	61.0%	61.2%	—	概ね順調 94.2%

成人が週1回以上スポーツを実施した割合は、令和6年度は61.2%となっており、令和2年度（56.0%）と比べて5.2%向上しました。様々な施策により、一定の成果を達成したと考えられますが、計画において設定した目標値（65.0%）に届いていないため、引き続き、ライフステージに応じた多様なスポーツ活動を促進するための機会の創出やスポーツ機運の醸成を進める必要があります。

なお、福井県スポーツ協会基本計画で設定したスポーツ実施率の指標は、スポーツ庁が毎年実施している体力・運動能力調査の結果を基に算出しています。

イ 総合型地域スポーツクラブ会員数

(福井県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会調べ)

項目	目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率
総合型地域スポーツクラブ会員数	7,500人	6,009人	6,246人	6,274人	6,777人	6,905人	7,072人	概ね順調 94.3%

総合型地域スポーツクラブの質的充実を図るため、令和4年度から(公財)日本スポーツ協会による「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度」がスタートし、令和7年度では、本県で15市町の25クラブが登録しています。また、会員数は、令和2年度は新型コロナウイルス禍のため6,009人まで減少しましたが、以降毎年増加しており、令和7年度では7,072人となっています。目標値との乖離はありますが、中学部活動地域展開等、地域クラブのニーズは高まっており、質の高いクラブづくりを進める必要があります。

【主な成果】

- ・県民スポーツ祭やみんなでスポーツフェスタなどのスポーツイベントにおける参加者数目標達成（県民スポーツ祭参加者数28,021人）

【主な課題】

- ・年間を通じてスポーツを楽しむ機会やスポーツイベントの充実
- ・スポーツを通じた健康・生きがいづくりの推進など

◇基本施策3 「健全な組織運営の継続」

本県スポーツの普及振興に永続的に貢献するための組織運営を目指すことを目的として「組織運営の強化のための人材の登用・育成」と「財務の健全性の確保」、「加盟団体の育成及び連携強化」をテーマに様々な事業に取り組んできました。

【目標達成状況】

ア 女性理事の割合

項目	目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率
女性理事の割合	25%以上	20.8%	20.8%	40.0%	40.0%	44.0%	44.0%	達成 176%

令和2年度には20.8%でしたが、年々増加し、令和7年度には2倍以上の44.0%になりました。将来的に目指していた、スポーツ団体ガバナンスコード(中央団体向け)に定める割合である40.0%に達成することができました。引き続き、女性理事の積極的な登用を図り、優秀な人材の確保に努めます。

イ 外部理事の割合

項目	目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率
外部理事の割合	25%以上を維持	29.2%	29.2%	40.0%	40.0%	36.0%	36.0%	達成 144%

スポーツ団体ガバナンスコード(中央団体向け)に定める割合が25.0%以上となっており、令和2年度以降継続して目標値を達成することができています。引き続き、優秀な人材を登用し、組織体制の強化を図りながら、健全な組織運営を進めていきます。

ウ 加盟団体負担金・寄附金収入等

項目	目標値	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率
加盟団体負担金・寄附金収入等	20,000千円	19,784千円	12,205千円	14,585千円	19,342千円	21,395千円	19,860千円	20,610千円	達成 103%

これまで、自主財源の確保に努めるとともに、基本財産及び資産について、資産運用規定に基づき適正かつ効率的な運用を図ってきました。令和8年度からは寄附金収入と賛助会費にフォーカスをあて、より多くの自主財源を確保できるように努めます。

【主な成果】

- ・女性理事や外部理事の登用による組織体制の強化と健全な組織運営の継続（スポーツガバナンスコードの遵守）

【主な課題】

- ・安定した自主財源の確保
- ・加盟団体との連携強化

第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

「スポーツでつながるふくい」

【計画期間：令和8年度～令和12年度の5年間】

スポーツは単なる競技ではなく、健康を支える力、人と人をつなぐ力、感動や希望を生み出す力など多方面にわたる力を持っています。そのスポーツの力を最大限活用し、県民の健康づくりや地域活性化を進めるとともに、県民誰もが感動や希望を共有することを通してふくいをもっとしあわせにします。

2 3つの基本方針



本計画の推進にあたっては、基本理念である「スポーツでつながるふくい」を実現するために、以下の3項目を基本方針とします。

基本方針	内容
1 世代をこえて広がる、スポーツの輪 ～あらゆる世代が楽しめる地域スポーツと環境の充実～	みんなが安心して参加できる社会を目指し、「する・みる・ささえる」を支援する環境づくりや、指導者やボランティアの育成を進めます。さらに、福井ならではのスポーツ文化を育てながら、元気いっぱいの地域づくりを進めていきます。
2 トップアスリートを、ふくいから ～国スポや国際大会等で活躍する選手の発掘・育成・強化～	アスリートの「聖地」となる福井から、夢や感動を届けられるよう、福井国体で築いた人とのつながりや競技力向上のノウハウを活かし、指導者の育成や選手のサポートを、計画的かつ継続的に行える体制を整えていきます。
3 健全な運営が支えるスポーツ振興 ～本県スポーツの普及振興に永続的に貢献するための組織運営～	福井国体での成果を礎に、役員・職員の育成や健全な財務運営、加盟団体との連携を推進し、県全体のスポーツ振興を力強く支えます。

スポーツでつながるふくい



第4章 具体的な施策の展開

基本方針1

世代をこえて広がる、スポーツの輪

～あらゆる世代が楽しめる地域スポーツと環境の充実～



1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

【目指す姿】

県民の誰もが、それぞれの体力や年齢、興味に応じて、いつでも・どこでも・いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指します。

【具体的な施策】

(1) スポーツ少年団活動の推進

スポーツ少年団大会や国際交流事業の支援、指導者の養成、資質向上を促進し、子どもたちのスポーツ活動の充実や健全育成を図ります。

- ・県スポーツ少年団大会の開催
- ・スポーツ少年団指導者等を対象とした研修会の開催
- ・スタートコーチ（ジュニア・ユース）養成講習会の開催
- ・ドイツとのスポーツ少年団との国際交流
- ・アクティブ・チャイルド・プログラムの普及研修会開催



県スポーツ少年団大会



スポーツ少年団指導者および育成母集団研修会

(2) 総合型地域スポーツクラブの持続可能な運営支援

地域住民のスポーツ参加を促進するため、拠点となる「総合型地域スポーツクラブ」について、市町関係機関の連携を促し、あらゆる世代のスポーツ活動の受け皿づくりと持続可能な地域クラブづくりを支援します。

- ・連絡協議会を通じたクラブ間交流
- ・クラブ関係者や市町行政関係者を対象とした研修会の開催
- ・クラブアドバイザーによる巡回指導
- ・アシスタントマネジャーの養成講習



連絡協議会を通じたクラブ間交流

(3) スポーツレクリエーションの普及拡大

子どもから高齢者まで、誰もが生涯を通じて、気軽に楽しく、スポーツや運動に取り組めるように、フライングディスクなどのスポーツを普及する団体のイベントや体験会等の開催を支援し組織の育成を図ります。

- ・誰もが楽しめるスポーツの体験会「みんなでスポーツフェスタ」の開催

2 「する」「みる」「ささえる」スポーツに親しむ環境づくり

【目指す姿】

県民が主体的にスポーツに参画するための基盤を整え、スポーツの魅力を県民の誰もがもっと身近に感じ、スポーツの「する」「みる」「ささえる」環境の充実を目指します。

【具体的な施策】

(1) 年間を通じてスポーツを楽しむ機会の充実

年齢や体力、障がいの有無に関わらず、全ての県民が気軽にスポーツを楽しむことができる機会を創出します。また、スポーツの振興を図り、生涯にたわって元気で生き生きしたスポーツライフの現実を目指します。

- ・県内一円で「県民スポーツ祭」を開催



総合開会式



式典アトラクション



綱引競技



ターゲット・バードゴルフ競技

県民スポーツ祭

(2) 県民交流イベントの開催

子どもから高齢者まで誰もがスポーツや運動を楽しみ、交流を深めることのできるイベントを開催します。

- ・トップアスリートを招いての講演会やスポーツを通じての交流会「県民スポーツ祭」（再掲）
- ・誰もが楽しめるスポーツの体験会「みんなでスポーツフェスタ」の開催（再掲）
- ・スポーツ・文化体験交流イベント「スポカルFUKUI」の開催



みんなでスポーツフェスタ



スポカルFUKUI

(3) 参加型スポーツイベント等の開催を支援

福井の自然を活かした参加型スポーツイベント等の開催を支援し、国内外から多くの人を呼び込み、交流人口拡大とともに福井の魅力発信につなげます。

- ・ふくい桜マラソン（フルマラソン）の継続開催とスポーツボランティア活動への参加促進



スポーツボランティアへの参加（ふくい桜マラソン）

提供：ふくい桜マラソン実行委員会事務局

(4) スポーツ団体への支援

本会の加盟団体に対し、大会開催に向けての報告・連絡・相談や運営費の補助をします。

(5) 民間整備の多目的アリーナ計画への支援

スポーツの魅力をもっと身近に感じるために、スポーツを「する」「みる」環境の充実を図ります。

(6) 安心安全なスポーツの実施

スポーツ活動において、誰もが、いつでも、安心してスポーツに親しめる環境の充実を図ります。

- ・熱中症防止対策への注意喚起
- ・スポーツ安全保険の周知

3 スポーツ指導者の育成と質の向上

【目指す姿】

県民の誰もが主体的にスポーツに参画するための基盤整備として、指導者やボランティアなどのスポーツ活動を支える人材の育成を目指します。

【具体的な施策】

(1) 多様な指導者の養成

地域において、体力づくり、スポーツレクリエーション、各世代に応じたスポーツ指導、部活動指導等、多様なニーズに対応できる指導者を養成し、誰もがスポーツに参加できる環境を整えます。

- ・日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者養成講習会の開催
- ・有資格者向け研修会の開催
- ・指導者協議会への支援

(2) クリーンでフェアなスポーツの推進

あらゆる暴力等の根絶に向けて、指導者に対して暴力、ハラスメント、不法行為等の防止に係る普及・啓発を行い、スポーツをする人が安全・安心に活動できる環境整備を進めます。

- ・スポーツに関するコンプライアンス等の専用相談窓口を設置（電話およびメール）
- ・「NO！スポハラ」に関する普及と啓発

4 スポーツ交流の推進

【目指す姿】

地域スポーツコミッション（福井県スポーツまちづくり推進機構）を中心とし、スポーツが持つ「楽しさ」を、「する」「みる」「ささえる」の多方面から応援することにより、福井ならではのスポーツ文化の醸成を図り、スポーツによる元気あふれる地域づくりを目指します。

【具体的な施策】

（１）地域スポーツコミッションによるスポーツツーリズム等の推進

県、市町、スポーツ団体、経済団体等が一体となって、地域スポーツコミッションによるスポーツイベントの誘致やスポーツツーリズム等の推進に取り組み、交流人口の拡大を図ります。

（２）県内のスポーツ施設を活用し全国規模のスポーツイベント・国際試合等を誘致

全国規模のスポーツイベントや世界大会、プロリーグ、トップ選手の試合・合宿等の誘致・開催を推進し、県民がスポーツに興味・関心を持てる「みるスポーツ」の機会を充実するとともに、交流と地域のにぎわいを創出し、まちづくりにつなげます。また、子どもたちにトップアスリートの試合を目の当たりにする機会を作ることで、スポーツへの夢を育みます。

- ・充実した県・市町のスポーツ施設を活用し大規模大会を誘致

ワールドマスターズゲームズ2027関西の本県での競技開催（2027）

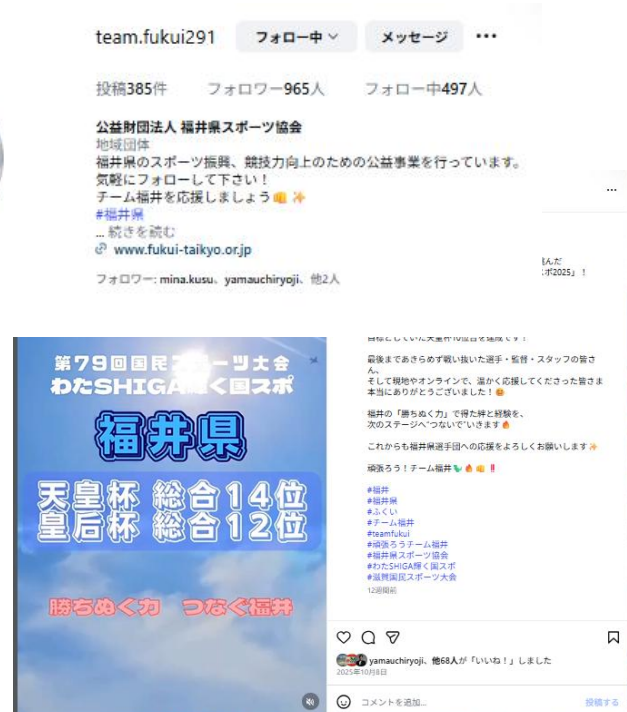
エンジョイ！スポーツフェスティバル（旧：全国スポーツ少年団競技別交流大会）の本県での競技開催（2028）など

- ・県外強豪チームなどの合宿の誘致

ローイング、ホッケー、体操競技、クライミング、レスリング、カヌーポロなどの日本代表合宿を実施

（３）スポーツ情報の提供

県民がスポーツに興味・関心を持ち、「する」、「みる」、「ささえる」というそれぞれの場面から積極的にスポーツに参加できるよう、各種スポーツ大会の上位入賞者やスポーツイベントなどの情報をホームページやSNSなどを活用して提供します。



www.fukui-taikyo.or.jp



team.fukui291



基本方針2

トップアスリートを、ふくいから

～国スポや国際大会等で活躍する選手の発掘・育成・強化～



1 選手を育成強化する体制づくり

【目指す姿】

福井国体後の競技力を維持するため、ジュニアから成年までの選手発掘・育成・強化、UIターン推進など、選手強化サイクルを構築し、全国や世界で活躍するアスリートが福井から育ち、県民に夢や感動を届ける、アスリートの「聖地」となる福井を目指します。

【具体的な施策】

(1) ジュニア世代の発掘・育成・強化

「ふくいジュニアアスリートアカデミー（FJAA）」では自分の可能性を伸ばしたい、スポーツで世界に挑戦したいと考える身体能力が優れている子どもたちを対象に、福井県スポーツ医・科学委員会委員等による運動・体力に関する知識や能力等を高めるプログラム、様々な競技を体験する機会を提供します。また、「合同競技体験会」を開催し、色々な競技への興味・関心を高め、競技の普及と選手発掘につなげます。

さらに、U-15県選抜チーム、ジュニアクラブ、優秀な地域クラブチームの活動を支援することで、全国で活躍するジュニア選手の育成・強化につなげます。



アカデミー生対象のクロストレーニング（様々な競技体験）



小3～中3対象の合同競技体験会



医科学サポートによる実技指導



メンタルトレーニング



スポーツ栄養学講座

ふくいジュニアアスリートアカデミー

(2) 国スポや全国大会等に向けた少年選手の確保

国スポの少年選手の強化拠点づくりや県内外の有望選手の確保のため、遠征・合宿等の強化事業の支援を行います。また、県外の有望選手の受入れを促進するため高校生選手の下宿費用を支援します。

(3) 有力成年選手のUIターン推進

①「スポジョブふくい」

トップアスリートに対して、競技団体と連携し「スポジョブふくい」を活用したUIターンを推進します。
また、オリンピック出場を目指す競技力の高い選手に対しては、競技に専念できるよう支援をします。



スポーツクライミング競技
天竺 颯太 選手



ライフル射撃競技
三浦 莉桜 選手



ライフル射撃競技
大塩 勇斗 選手

②「ふるさと選手」

県外で活躍する福井県ゆかりの有力選手に、「ふるさと選手」としての国スポ出場を促し、「チームふくい」の競技力を高めるとともに、ふるさと福井への誇りと愛着心を育み、将来のUIターンにつなげます。



バドミントン競技 山口 茜 選手



陸上競技 奥村 仁志 選手

(4) 有望選手の強化

今後も国スポで総合成績10位台の競技力維持を目指し、計画的・継続的な選手強化を進めます。
・国スポ本県代表候補選手を「強化指定選手」に認定し、練習会、遠征、合宿等の強化活動を支援

(5) 国スポ成年選手による少年選手の指導の推進

引退後、指導者として次世代の選手を育てていくという好循環を形成していくため、少年・成年選手合同の「チームふくい」合宿や、福井国体で活躍した選手が少年選手を直接指導できる環境の整備に協力します。

・国スポ等で活躍した選手による部活動等の指導

2 持続可能な指導者の育成と確保

【目指す姿】

福井国体で築いた中央競技団体等との人脈を活かし、指導者の資質向上と育成・確保を図り、持続可能な指導体制の構築を目指します。

【具体的な施策】

(1) 公認スポーツ指導者資格取得の促進

競技団体の競技力向上を担う人材を育成するため、（公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格取得にかかる費用を支援します。

(2) 国内トップクラスの指導者の招へい

選手の競技力向上、指導者の資質向上および競技団体の組織強化を図るため、中央競技団体等から優秀な指導者を定期的に招くための支援をします。



世界選手権2025のヘッドコーチを招いての強化合宿

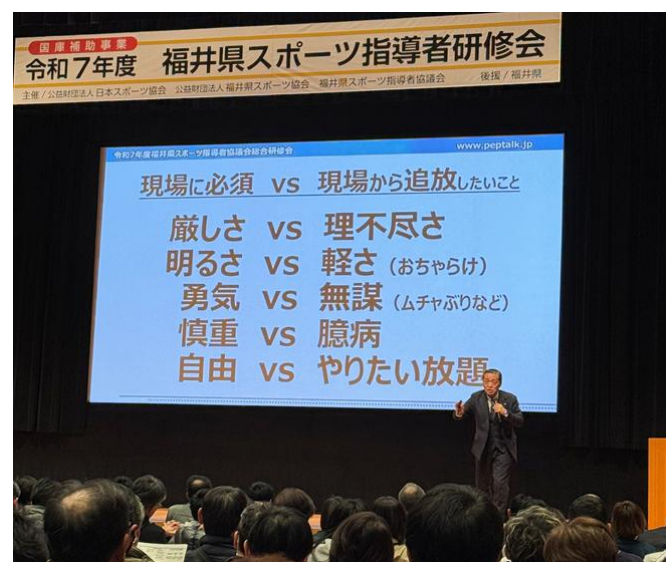
(3) 指導者の確保と資質向上

指導者の確保と資質向上のため、競技団体の指導者を対象に講習会や研修会などを開催します。

- ・ 競技団体による意見・情報交換
- ・ 暴力、ハラスメント、不法行為等の防止に係る普及と啓発



国スポ結果検討会
(優勝監督等による講演)



福井県スポーツ指導者研修会
(ペップトークに関する講演)

3 競技力向上のための環境づくり

【目指す姿】

福井国体で得た競技力向上のノウハウを活かし、多方面からの計画的・継続的なサポートができる環境づくりを目指します。

【具体的な施策】

スポーツ医科学支援体制の充実

福井県スポーツ医・科学委員会により、国スポ強化指定選手および指定候補選手に対して医科学サポートを実施し、競技力向上につなげます。

- ・Webアンケートによるメディカル、医薬品・サプリメント、栄養、心理に関する調査および健康管理の支援
- ・スポーツデンティストによるスポーツマウスガードの作製
- ・全競技団体に専属スポーツファーマシストを配置し、ドーピング違反薬の確認および服薬指導、アンチ・ドーピング講習会等の実施
- ・競技団体専属APT*1を配置し、受診の必要性の判断（トリアージ）を行い、加えて競技継続の可否やけがの防止、フォームの改善などのコンディショニングチェックを実施
- ・スポーツドクターとAPTの国スポ帯同による支援
- ・スポーツ栄養士による栄養指導を実施
- ・スポーツメンタルトレーニング指導士によるメンタルトレーニングを実施
- ・福井県スポーツ医科学研究大会の開催
- ・女性アスリートが試合で最高のパフォーマンスをが發揮できるよう、月経管理を行いながら競技力を高める「ルナ・コントロールプロジェクト」等により、女性アスリートを支援
- ・ふくいジュニアアスリートアカデミー（FJAA）事業へのサポート（再掲）

*1 APT…①②の総称

①（AT）日本スポーツ協会公認のアスレティックトレーナー、（PT）理学療法士

②（県認定APT）福井県認定AT、PTで福井県スポーツ医・科学委員会が実施する既定の講習会・実践を経た県認定の資格者



福井県スポーツ医科学研究大会



アンチ・ドーピング講習会



女性アスリートサポート～ルナ・コントロールプロジェクト～



基本方針 3

健全な運営が支えるスポーツ振興

～本県スポーツの普及振興に永続的に貢献するための組織運営～

1 組織運営の強化のための人材の登用・育成

【目指す姿】

福井国体時には、総合優勝を目指して役員と職員が一体となり、天皇杯・皇后杯を獲得することができました。この経験を活かし、今後も優秀な役員の登用、事務局職員の育成に努めます。

【具体的な施策】

(1) 優秀役員の登用

役員候補者選考委員会での協議を基に、優秀な役員の登用を図るとともに、女性役員を積極的に登用します。

- ・弁護士、税理士等の外部役員の積極的な登用
- ・女性理事の積極的な登用を図り、常務理事以上の役職にも選任
- ・女性の指導者、選手、競技団体役員等によるネットワークの構築



女性役員の積極的登用（理事会）

(2) コンプライアンスの強化

既定の倫理規程、倫理に関するガイドライン等を常に見直すとともに、倫理委員会を設置し、委員には弁護士等の外部委員を委嘱することにより、コンプライアンスの強化を図ります。

- ・スポーツに関するコンプライアンス等の専用相談窓口を設置（電話およびメール）（再掲）
- ・日本スポーツ協会および加盟団体との情報共有

(3) 事務局職員の育成

内閣府公益認定等委員会が主催する専門の経理業務や法人運営等の研修に職員を参加させるなど、知識の向上に努めます。

2 財務の健全性の確保

【目指す姿】

財務・経理の処理を適切に行い、公正な会計原則を遵守するとともに、健全な法人運営を図るため財源の確保に努めます。

【具体的な施策】

(1) 外部の専門家のサポート

年間を通して会計事務所のサポートを受け、適切な財務・経理処理を行います。

(2) 専門家を監事に選任

外部から財務・経理の専門家を監事に選任し、財務・経理業務を確認します。

(3) 財源の確保

加盟団体負担金や寄附金等の収入確保に努めるとともに、基本財産及び基本財産以外の財産（資産）について、資産運用規程に基づき適正かつ効率的な運用を図ります。

3 加盟団体の育成および連携強化

【目指す姿】

加盟団体におけるガバナンスの確保を推進するとともに、本会と加盟団体の連携を強化し、本県全体のスポーツ推進に貢献します。

【具体的な施策】

(1) 加盟団体におけるガバナンスの確保

加盟団体に関する規程および倫理に関するガイドラインに基づき、加盟団体におけるガバナンスの確保を推進します。

- ・競技団体に対する定期的な会計実地調査の実施
- ・加盟団体に対するコンプライアンス研修の実施
- ・年間を通じたコンプライアンス等の相談および情報提供



コンプライアンス研修（ガバナンスの確保）

(2) 加盟団体との連携強化

県民スポーツ祭や国スポ、競技力向上対策事業、加盟団体理事長会議等を通じて、本会と加盟団体の連携を強化します。

(3) 新たなスポーツ団体への育成支援

新たなスポーツ団体の当会への加入を促進するとともに、組織運営等へのアドバイスを行います。

第5章 目標達成の指標

各基本方針の目標達成の指標は以下のとおりとします。

基本方針	指標	R7現状	R12目標 (R8から5年後)
1 世代をこえて広がる、 スポーツの輪	県民スポーツ祭への参加総数	29,953人	30,000人
	スポーツ少年団加入率（小学生）	17.0%	17.0%
2 トップアスリートを、 ふくいから	ジュニアアスリートアカデミー受 講者の全国大会出場者数 (延べ人数)	累計34人 (R3～7)	累計34人以上 (R8～12)
	国スポ 総合成績	14位	10位台
	国際大会出場者および 全国大会上位入賞者数（1～2位）	203人	220人
	公認スポーツ指導者登録数 ※スタートコーチ、スポーツコーチングリー ダーを除く。	2,195人	2,500人
3 健全な運営が支える スポーツ振興	女性理事の割合	44.0%	44.0%以上
	外部理事の割合	36.0%	36.0%以上
	寄附金収入・賛助会費	5,803千円	6,500千円

施策の推進に当たっては、市町やスポーツ団体等の関係機関・団体と連携・協働して取り組みます。

実効性を確保するため、定期的にスポーツ活動の実態やニーズ、目標達成状況を把握し、次年度以降の施策に反映していきます。



参考 第2期福井県スポーツ推進計画の基本施策

本県が目指す姿

1 生涯現役！スポーツと暮らす ふくい

県民の誰もが、全てのライフステージにおいて、切れ目なく、それぞれの体力やライフスタイル、興味や関心に応じて「生涯現役」でスポーツに親しみ、「1県民1スポーツ」が根付いた福井を目指します。

2 世界へ！トップアスリートの聖地 ふくい

ジュニアから成年までの選手発掘・育成・強化、Uターン推進など、選手強化サイクルを構築し、全国や世界で活躍するアスリートが福井から育ち、県民に夢や感動を届ける、アスリートの「聖地」となる福井を目指します。

3 楽しもう！スポーツ エンタメ ふくい

北陸新幹線開業を契機に、スポーツが持つ楽しさを通じて福井ならではのスポーツ「エンタメ」の醸成を図り、交流人口を拡大して地域を活性化させ、元気あふれる福井を目指します。

4 広がる！スポーツの舞台 ふくい

県民が主体的にスポーツに参画するための基盤を整え、スポーツの魅力を県民の誰もがもっと身近に感じ、スポーツの「する」「みる」「ささえる」環境（「舞台」）の充実化を目指します。

施策の基本的方向

本計画では、スポーツ推進のための基本施策を掲げ、それぞれについて実施する具体的な施策を記載しています。

さらに、実効性のある計画とするために、目標年次（令和11年度）までの数値目標を設定し、施策を実施します。

基 本 施 策

I 全世代の日常にスポーツを ～ライフステージに応じた多様なスポーツ活動の推進～

- 1 県民総スポーツの機会づくり
- 2 スポーツを通じた共生社会の実現
- 3 スポーツによる健康づくりの推進
- 4 子どものスポーツ活動の充実・豊かな心と健やかな体の育成
- 5 働き盛り子育て世代・女性のスポーツ機会の創出
- 6 シニア世代のスポーツ活動の充実
- 7 パラスポーツの普及拡大

II チームふくいでアスリートの頂点へ ～国民スポーツ大会や国際大会等で活躍する選手の発掘・育成・強化～

- 1 ジュニア世代の発掘・育成・強化
- 2 トップアスリートの競技活動支援・U I ターン推進
- 3 持続可能な指導体制の構築
- 4 クリーンでフェアなスポーツの推進
- 5 スポーツ医・科学サポートの積極的活用
- 6 トップパラアスリートの発掘・育成・強化

Ⅲ スポーツでワクワクドキドキを ～福井ならではの地域特性を活かしたスポーツ交流の推進～

- 1 地域スポーツコミッションを軸とした福井ならではのスポーツツーリズムの推進
- 2 全国規模の大会・イベント、スポーツ合宿誘致活動の強化
- 3 イベント企画・広報などの伴走支援
- 4 ランナー満足度全国トップクラスの「ふくい桜マラソン」の開催
- 5 FUKUI RAYSの活躍応援
- 6 トップアスリートを活用した交流推進

Ⅳ スポーツの魅力をもっと身近へ ～誰もがスポーツに参画できる「場づくり」の整備・充実～

- 1 スポーツを支える組織や体制の充実
- 2 スポーツ指導者の育成と質の向上
- 3 スポーツボランティア活動の推進
- 4 デジタル技術を活用したスポーツ活動の推進
- 5 eスポーツの普及拡大
- 6 スポーツ施設の長寿命化と利活用

